

mizhen

夜明けに、月の手触りを

原案 藤原佳奈、佐藤路子、佐藤幸子

脚本 藤原佳奈

登場人物

さや	転職を繰り返す派遣社員
ゆうこ	アイドルにはまる保育士
しずか	広告代理店で働くできる女
あさこ	細胞を研究する大学院生
まき	関西から上京した女芸人

○ 女達の朝

(発話されない)

人、交差する人、光、朝、女、細胞、かけめぐる声、光が差し込む、電車、運動、振動。アスファルト、道に寝転がるホームレス、行列ができるスターバックス、
とかくコーヒーを流しこむ朝、露になる繁華街、カラスの縄張り、電車、運動、振動。
イヤフォンから流れる音、交差する視線、思い出す昨日の言葉、見返すメール、
今日のスケジュール、これからの私、リズムを刻む、電車が走る、時がすぎる、
ただ、運ばれて行く。

○ 満員電車内

しずか、あさこ、ゆうこ、まき、さや、いびつな形で立っている。

しずか 隣の、背が低いおじさんの、油が浮かんだ頭皮から逃れ、隣の、パーマがちりちりとなつたお姉さんの髪にうずめてしまわないようにと顔を避け、後ろにいる男の人、多分同世代、と、できるだけ身体が、特に下半身が、密着しきらないようにと、すこし腰を前に押し出し、かといって私の前に座っている整った着こなしをしているおばさまの、プライベートな領域へ侵入しすぎないように身体を食い止める。乗り換えまで、あと3駅。

あ。自分の仕事が、あった。

広告の声 《秋には、秋刀魚！秋には、松茸！秋には、秋絞り！秋だけど♪
秋だけど♪絞り立て♪》

しずか 広告の中では、治まりよく、中堅の女優がビール片手に微笑んでいる。

まき どこかから、子供の声がした。

あさこ どこかから、赤ん坊の音が聞こえた。

さや 隣の席の赤ちゃんに、腕をつかまれた。私を見つめる赤ちゃん。
母親は、申し訳なさそうに、私から赤ちゃんを引きはがした。

ゆうこ 昨日はたっくんの誕生日だったから、何かしら動画が更新されているはず、とブログ

を開く。案の定、新着マーク。イエス。電車の中、人と人の間に埋もれて、こうして、包み込まれている感覚が、私は結構好き。動画では、ケーキを抱えたたつくんが、カメラに向かってしゃべっていた。まさしんとゆっきーがバースデーソングを歌っている。はっぴばーすでーたーくーとー♪まさしんの声。

電車が急停車する音。

しずか 急に、電車が止まった。

車内、小さなざわめき。

ゆうこ、おもむろにイヤフォンを取り出し音楽を聞く。
身体が揺れ、歌い出す。

ゆうこ ♪シャウトするボクらの、ドウドウドウドウドウ！
シャウトするボクらの、ドウドウドウドウドウ！♪

周囲、ゆうこを見る。

ゆうこ 電車の中の、こういう空気は好きじゃない。ちょっとしたことで不安が連鎖して、急に、時間が濃くなるような、息苦しくなるような、こんな時は、まさしんの、声を、聞く！

♪シャウトするボクらの、心届けよサンシャイーン、胸を響かせロックイーン！
頭揺らしてサイクリング、ささみ食べたいチッキーン！♪

音量マックスで聞く、このアルバムは昨日、私の家に届いたもの、サイン付。この手に残る感触…一ヶ月前のファンクラブ先行予約販売イベント、“夏の終わりのセキュリティ”…イエス。

人の波をかきわけかきわけ、戦法ザ・うなぎで勝ち取った最前列、イエス！会場の熱気、きっと私が一番高熱、早まる鼓動、今か今かと待って、照らされたステージ！

大ヒット曲『君はゆでたまご』のイントロが流れる中、後光を指して登場した三人！イエッス！

三匹のぬいぐるみ（セキュリティボーイズ）登場。

眩しく眩しい三人の姿は、もう、絶対的すぎて、ああ、もうだめだ、わたしには直視ができない！…うそ！嘗め回すように見るけど！あひる口、たっくんの唇！は、ドナルドダックも土下座する造形美！（ドナルドダックのまね）しょうゆ顔、ゆっきーのすっとした鼻筋！は、たぶん整形！しかしそんなの関係ねえ！そしてそして、まさしゃんの、あ、間違えた、わたしのまさしゃんの、くりくりとした二重、それはどんなどんぐりよりもくりくりしていて、すらっと、聖なる股下から伸びた、如何なる障害物をもまたげそうな、為末大が齒軋りしそうな、長い足！…ジラフ！！わっしょい！私を見て、くしゃっとほころぶ笑顔、それはまるで子犬のよう、と言いたいところだけれど、こんな可愛い子犬がいたら連れてきてください！言い表す言葉が見つかりません…SO CUTE SO PRETTY SO DELICIAUS、OH ビヨンドディスクリプションとはこのことかあ！

みんなの声援に答えるまさしゃん、隣のゆっきーと肩を組んでじゃれあうまさしゃん、まさしゃん。まさしゃん！

『君はゆでたまご』 by セキュリティボーイズ

♪君は、ゆでたまご、ぼくは、白身かな？

君は、ゆでたまご、ぼくは、白身だね！

君は、ゆでたまご、ぼくは、白身だぞ！

ゆでたまごの君をぼくがつつんであ・げ・る

半熟の君をそっとつつんであ・げ・る

KIMI・KIMI・KIMIKIMI （ジャッジャーン）

ぼくの *KIMI・KIMI・KIMIKIMI* （ジャッジャーン）

ぼくだけの *KI・MI!* ♪

ゆうこ そしてそして、メインイベントの握手会！

長い列を待ちながら、わたしは、まさしゃんにかける言葉を、考えました。

みなさん、お気づきでしょうか。

これは、私が、どう楽しむか、では、ありません。

いつも、私に、元気を届けてくれる、生きる、活路を見出してくれる、

まさしゃんに、私から、感謝の意味をこめた、プレゼントなのです。

だから、笑って欲しかった。どうかまさしゃんには、私と話した、たとえ1分、いえ、たとえ10秒でも、笑っていて欲しかった。

まさしゃんの、笑顔の前で、私は渾身の言葉を振り絞る。

「まさしゃん、とかけまして、祭りをしきる町内会のおじさん、とときます。

その心は？」

なんだろう、と考えるまさしゃん。(もったいぶって) …みんなに、ハッピーを、
くれるでしょう！はっぴーを…ハッピを……「祭りだよお～祭りだよ～ハッピだよ
～」… “はっぴ” をくれるでしょう！

なるほどね！とまさしゃんの笑顔。まさしゃんと私、二人だけに流れる時間、この
時間が永遠に続けば、まさしゃんと私の間の、この濃密な時間は、二人の子供を作
りうるかもしれない、と思いました。あれからもう一ヶ月、それでも手のひらに残
る感触、耳から聞こえるまさしゃんの声と共に、私はそれを反芻する。

この急に止まった電車の中の、今、この不穏な空気に怯える全ての人達に、私の、
この手に蓄積した感触を、教えてあげたい、まさしゃんの元気を、渡してあげたい。

「電車は、すぐ、動くから。」

と、ゆうこ、あさこに優しく手をかざす。

あさこ、イヤホンをするが、音楽を聞いているわけではない。

ゆうこ 隣の女の人は音楽を聞き始めた。まさしゃんのミュージックパワー…。

あさこ、イヤホンを外し、ゆうこを注視する。

しずか 人身事故があったけれど、もうすぐ復旧する、という旨のアナウンスが
流れた。

ゆうこ (車内アナウンスを聞いて、自分の手を掲げて) まさしゃんの、ミュージックパワー
…。

あさこ、ゆうこを気にして

あさこ ねえ、

ゆうこ (気づかない)

あさこ ねえ。

ゆうこ (気づかない)

あさこ あの！

ゆうこ …？は、い？

あさこ おと。

ゆうこ え？

あさこ 音量。考えた方がいいんじゃないですか？

ゆうこ え？あ、あ、ごめんなさい…。

間

あさこ ……あの。

ゆうこ はい？

あさこ …なんて言うんだっけ、そのグループ

ゆうこ え…？（うれしそう）

あさこ 名前がここまできてんのに気持ち悪くて

ゆうこ セキュリティボーイズの、ことですか？

あさこ ああ、そうだ、そのださい名前。

ゆうこ セキュリティボーイズのことですか！？

あさこ え、うん

ゆうこ …興味、ありますか…？

あさこ 全然。…知り合いが、多分ファン。

ゆうこ その方は、まさしゅん押しですか…？

あさこ ん？なにしゅん？

ゆうこ 私はまさしゅん押しなんですけど、たっくんと、ゆっきーと、まさしゅんと
3人おりまして、お知り合いは誰押し、かな、と。

あさこ さあ、私よく知らないから。なんか背が一番高いとか言ってたけど。

ゆうこ たっくんですかあ。

あさこ いや、知らないけど。

ゆうこ あの、もし良かったら。わたし、これ、たっくんの名前が入ったピンバッ
チ、この前抽選で当たったんですけど、お知り合いの方にぜひ。わたしは、
まさしゅんのがあればいいので。

ゆうこ、あさこにピンバッチを渡そうとする。

電車が発進する。

しずか （小声で電話）あ、すいません、全然大丈夫でした。今動いたんで、はい、
間に合いそうです。はい、失礼いたします。

ゆうこ （小声）まさしゅんパワー…

あさこ え？

ゆうこ あの、これ、あげます。

あさこ え、いらないよ。

ゆうこ いえ。もらってください。

あさこ いいって。

ゆうこ どうぞ。たっくんは、昨日誕生日だったので。たっくんグッズが、あるべき所にあるということは、たっくんの幸せ、それは即ち、セキュリティボーイズの幸せ、それは即ち、まさしゃんの幸せ、なので。

あさこ …あ、そう…なんかよく分かんないけど、どうも…。

ゆうこ あ、私は降りないと！では、たっくんファンさんによろしくお伝えください。

あさこ …。

あさこ、手にしたピンバッジを見つめる。